



PARTYBOX Encore



取扱説明書

重要な安全上の注意

全製品向け:

1. 説明書を読んでください。
2. 手順を守ってください。
3. 全ての警告に留意してください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 乾いた布のみで手入れをしてください。
6. 通気開口部を塞がないでください。メーカーの説明書に従って機器を設置してください。
7. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブまたは発熱する他の機器(アンプを含む)などの熱源の近くにこの機器を設置しないでください。
8. 極性プラグまたは接地タイププラグの安全目的に違反しないでください。極性プラグには2つのブレードがあり、片方がもう一方よりも広くなっています。接地タイププラグには2つのブレードがあり、3番目のアースが分岐しています。広いブレードまたは3番目のピンは安全のために取り付けられています。付属のプラグがコンセントに適合しない場合は、電気工に相談して旧式のコンセントを交換します。
9. 電源コードの上を歩いたり、電源コードを挟んだりしない(特にプラグ、コンセントおよび機器から出ている部分)ように保護します。
10. 当社によって指定された付属品のみを使用してください。
11. 当社によって指定された、または機器に同梱されているカート、スタンド、三脚、ブラケットまたはテーブルのみを使用してください。カートを使用する場合、転倒によるけがを防ぐため、カートに載せて装置を移動する際には注意してください。
12. 雷雨の間、または長期間使用しない場合はこの装置のプラグを抜いてください。
13. 製品の修理は専門の修理業者に依頼してください。電源コードまたはプラグが破損した、機器に液体がこぼれた、または物が落ちた、あるいは機器が雨または湿気にさらされて正常に作動しない、または機器を落とした場合のように、機器が何らかの形で破損した場合、修理が必要です。
14. AC電源をこの機器から完全に外すには、AC電源差し込み口から電源コードを引き抜きます。
15. 電源コードの主電源プラグはいつでも使用可能な状態にあるものとしてください。
16. この機器は当社によって提供された電源や充電ケーブル以外の使用は想定していません。



以下の指示は防水機器には該当しないことがあります。該当する場合、防水についての詳細な指示は、お持ちの機器の取扱説明書、またはクイックスタートガイドをご参照ください。

- 水の近くでこの機器を使用しないでください。
- この機器を水滴または水しぶきが当たらないようにして、花瓶のように液体で満たされた物体を機器の上に置いていないことを確認してください。

警告: 火災または感電のリスクを減らすため、この機器を雨または湿気に当てないこと。

警告

感電のリスクあり。絶対に開けないでください。



製品のこの記号は、絶縁されておらず製品の内部が危険な電圧で感電のリスクがあるという意味です。



製品のこの記号はこのガイドにおける重要な操作およびメンテナンス上の指示があるという意味です。

ユーザー向けFCC警告およびICステートメント(米国およびカナダのみ)

この機器はFCCルールのパート15に準拠しています。操作は以下の2つの条件に従うものとします:(1) この機器は有害な干渉を引き起こしてはならない、および(2) この機器は好ましくない操作を引き起こす可能性がある干渉を含めて、必ず受信した干渉を受け入れなければならない。

CAN ICES-003(B)/NMB-003(B)

FCCのSDOC (供給者適合宣言)

ハーマンインターナショナル(HARMAN International)は、この機器がFCCパート15サブパートBに準拠していることをここに宣言します。法令順守宣言は、www.jbl.comからアクセス可能な弊社のウェブサイトのサポートページで閲覧することができます。

米連邦通信委員会の干渉に関するステートメント

この機器はFCCルールのパート15に基づいて、クラスBデジタルデバイスの制限に適合するように試験され、適合することが確認されています。この制限は、住宅での設置において有害な干渉から適切に保護するために設定されています。この機器を製造し、使用すると無線周波数エネルギーを放出する可能性があり、説明書に従って設置、使用しない場合は無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特殊な設置状況においては、干渉が生じないという保証はありません。この機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす(機器の電源をつけたり消したりすれば確認できます)場合は、以下の1つまたは2つ以上の方法により、ユーザーが干渉の排除を試みることを推奨します。

- 受信アンテナの向きや位置を変えてください。
- 機器とレシーバー間の距離を空けてください。
- レシーバーが接続されている回路とは異なる回路上のコンセントに機器を接続してください。
- 販売店または熟練したラジオ/TV技術者に相談してください。

警告: HARMANが明確に認めていない改変や改造を行うと、ユーザーのこの機器の操作権限が無効になることがあります。

RFエネルギーを送信する製品向け:

(i) ユーザー向けのFCCおよびIC情報

この機器はFCCルールのパート15、およびカナダ産業省のライセンス免除RSS基準に準拠しています。操作は以下の2つの条件に従うものとします:(1) この機器は有害な干渉を生じてはならない。(2) この機器は望まない操作を引き起こす可能性がある干渉を含めて、必ず受信した干渉を全て受け入れなければならない。

(ii) FCC/ICの放射線被曝ステートメント

この機器は、制御されていない環境において規定されたFCCおよびISEDの放射線被曝制限に準拠しています。

この機器をFCC/IC SAR (比吸収率) 被曝テストの対象にする必要がある場合、この機器はFCCおよびISEDによって設定される電波への被曝要件に適合するように設計されています。これらの要件では、組織1グラムに平均で1.6 W/kgのSAR制限を設定しています。使用時に体または頭から離さずに適切に装着した状態での製品認証中に、最大のSAR値がこの基準を下回ることが報告されました。RF被曝ガイドラインに適合させ、操作中のRFエネルギーへの被曝を減らすため、この機器は体または頭から少なくともこの距離は離しておく必要があります。

5150~5850MHzで動作する電波機器向け

FCCおよびIC警告:

高出力レーダーは5.25~5.35GHzおよび5.65~5.85GHz帯の主要なユーザーに割り当てられます。これらのレーダー局はLE LAN (ライセンス免除のローカルエリアネットワーク) 機器への干渉や損傷の原因になる可能性があります。

このワイヤレス機器は設定制御を備えていないので、FCCルールのパート15.407に従った米国での動作向けの、FCCが許諾していない動作周波数の変更はできません。

IC警告:

ユーザーは次のアドバイスも受ける必要があります:

- (i) 5150~5250MHz帯で動作する本機器は、同一チャネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を減らすため、屋内でのみ使用できます。(ii) デバイス向けに認められた5250~5350MHzおよび5470~5725MHz帯の最大アンテナゲインは等価等方放射電力制限に準拠するものとします。また
- (ii) 5725~5825MHz帯の機器に認められた最大アンテナゲインは、ポイントツーポイントおよび非ポイントツーポイント動作を適切として指定された等価等方放射電力制限に準拠するものとします。

使用制限 EUによる注意、5150~5350MHz帯での操作は屋内での使用に限られます。

本製品の適切な廃棄 (電気&電子機器の廃棄)



この記号は本製品を家庭ごみとして廃棄することを禁止し、リサイクル用に適切な回収施設に送る必要があるという意味です。適切な廃棄とリサイクルは天然資源の保護、人体の健康、環境の保護に役立ちます。この製品の廃棄とリサイクルの詳細については、地

元の地方自治体、廃棄サービス業者、またはこの製品を購入した販売店にお問い合わせください。

この製品はRoHS指令に準拠しています。

この製品は、電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する2011/65/EU指令およびその修正条項に準拠しています。

REACH

REACH(規則No. 1907/2006)は、化学物質の製造と使用、およびそれが人体の健康と環境に与える潜在的な影響に関する規則です。REACH規則の33(1)条では、ある成形品が重量当たり0.1%を超える高懸念物質(SVHC)候補のリスト(「REACH候補のリスト」)に含まれている物質を含有している場合、供給者は受領者にそのことを告知する必要があるとしています。本製品は重量当たり0.1%を超える濃度の「鉛」(CAS-No. 7439-92-1)を含有しています。

なお、発売時点で本製品には、REACH候補のリストにある物質のうち、鉛以外は重量当たり濃度0.1%超を含有している物質はありません。

注:2018年6月27日に、鉛はREACH候補のリストに追加されました。このことは、REACH候補リストの鉛を含有する原材料がただちに人体へのリスクになる、また使用の許可を制限するという意味ではありません。

ヘッドホンジャック付きの機器について

警告/注意



長時間、大音量でヘッドホンを使用しないでください。

- 難聴にならないように、ヘッドホンを快適かつ適度な音量で使用してください。

- 両耳にヘッドホン装着する前に機器の音量を下げ、快適に聴けるレベルになるまで徐々に音量を上げてください。

電池を含む製品向け

ユーザーの使用済み電池の取り外し、リサイクル、廃棄手順

お持ちの機器またはリモコンから電池を取り外すには、取扱説明書の電池の装着に記された手順の逆を実行してください。製品の耐用年数まで持つ電池内蔵の製品の場合は、ユーザーによる取り外しができないことがあります。この場合は、リサイクルセンターまたは回収センターが製品の解体および電池の取り外しを行います。もし何らかの理由で同種の電池の交換が必要な場合は、認定サービスセンターがこの手順を実行する必要があります。EUや他のいくつかの国では、どんな種類の電池でも家庭ゴミに捨てるのは違法です。電池は全て、環境に悪影響を与えない方法で廃棄する必要があります。環境に悪影響を与えない使用済み電池の回収、リサイクル、および廃棄については地元の廃棄物処理当局にご連絡ください。

警告:電池の誤った取り外しを行うと、爆発の危険があります。火事、爆発または可燃性の液体/ガス漏れのリスクを減らすには、分解したり、つぶしたり、傷つけたり、外部接触によってショートさせたり、60°C (140°F)を超える温度、日光、または同様の熱、極端な低空気圧にさらしたり、火または水の中に廃棄したりしないようにしてください。取り替えられるのは、指定された電池だけです。あらゆる電池および蓄電池の「別々に収集」を示す記号は、下記のバツ印の付いたゴミ収集車です:



ワイヤレス操作を行う全製品について

ハーマンインターナショナル (HARMAN International) はこの機器が2014/53/EU指令の必須要件および他の関連条項を順守していることをここに宣言します。法令順守宣言は、www.jbl.comからアクセス可能な弊社のウェブサイトのサポートページで閲覧することができます。

てんかんの警告

人により、点滅する光を見ててんかんの発作を起こすことがあります。

目次

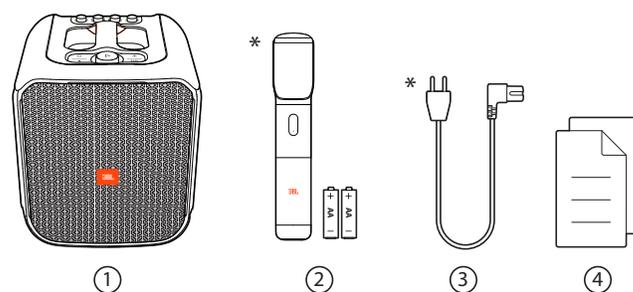
重要な安全上の注意	2	9. 仕様	14
1. はじめに	6	10. トラブルシューティング	14
2. 同梱品	6	11. 法令順守	15
3. 製品概要	7	12. 商標	15
3.1 トップパネル	7		
3.2 背面パネル	8		
4. 設置	8		
5. 電源オン	9		
6. PARTYBOXを使う	9		
6.1 BLUETOOTH接続	9		
6.2 USB接続	10		
6.3 曲の操作	10		
6.4 AUX接続	10		
6.5 マイクで音声を重ねる	11		
6.6 モバイルデバイスを充電する	12		
7. PARTYBOXを持ち運ぶ	12		
8. その他の使用方法	13		
8.1 JBL PARTYBOXアプリ	13		
8.2 ライトエフェクト	13		
8.3 TWSモード	13		
8.4 工場出荷状態へのリセット	13		
8.5 IPX4	13		

1. はじめに

お買い上げいただきありがとうございます。この説明書にはPARTYBOX Encoreスピーカーの情報が記載されています。製品の説明とご使用のための設定手順が記載されていますのでご確認ください。製品をご使用になる前に安全上の注意を全てお読みの上ご確認ください。

設置方法または操作について何かご質問がありましたら、小売店もしくはカスタマー・サービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、www.jbl.comにアクセスしてください。

2. 同梱品

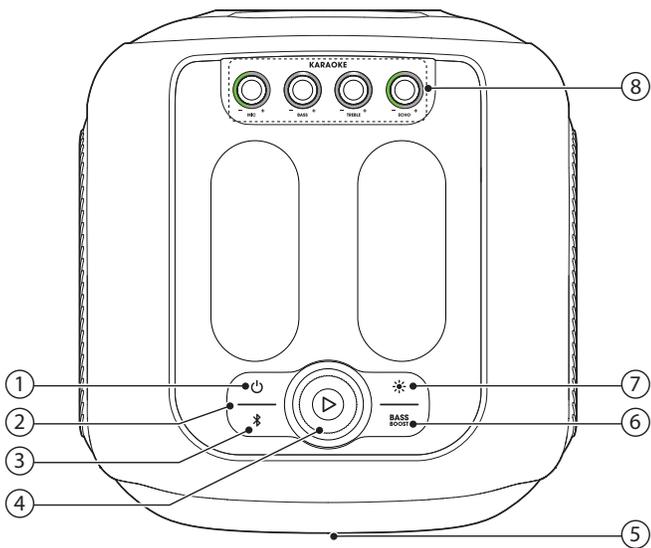


- 1) 本体
- 2) ワイヤレスマイク (単三アルカリ乾電池2本付属)*
- 3) 電源コード*
- 4) クイックスタートガイド、安全シート、保証書

*電源コードの本数、プラグタイプ、マイクの本数は販売される地域によって異なります。

3. 製品概要

3.1 トップパネル



- 1) ①
 - 電源をオンまたはオフにします。
- 2) ② バッテリーレベルインジケーター
- 3) ③ *
 - Bluetoothペアリングモードに入ります。
 - 10秒以上長押しすると、全てのペアリングされたデバイスを消去します。
- 4) ④ ▷
 - 押すと再生、一時停止、または再生を再開します。
 - 時計回り/反時計回りに回して/メインボリュームの音量を調整します。
- 5) ⑤ LEDリング
- 6) ⑥ BASS BOOST
 - バスブーストのプリセット1、プリセット2、またはオフが選択できます。
- 7) ⑦ *
 - ライトパターンを切り替えます。
 - 2秒以上長押しすると、ストロボライトがオンまたはオフになります。

8) KARAOKE

- BASS +
 - 低音レベルを調節します。
- TREBLE +
 - 高音レベルを調節します。
- ECHO +
 - エコーレベルを調節します。
- MIC +
 - マイクの音量を調節します (接続されている場合)。

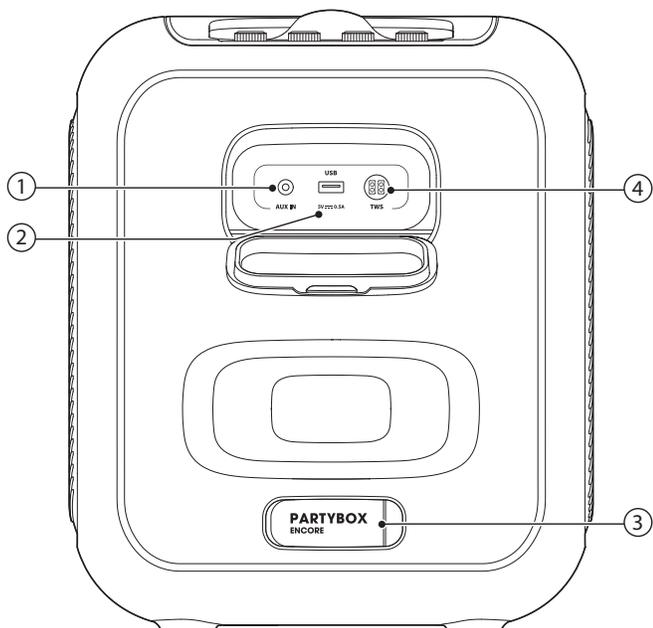
警告:

- スピーカーのライトが点灯している時、発光部を直接見ないでください。

LEDの状態

①	○ 白色で点灯	電源オン
	● オフ	スタンバイ/電源オフ
* ③	⦿ 白色で素早く点滅	ペアリング
	○ 白色で点灯	接続済み
	● オフ	未接続
BASS BOOST ⑥	● 薄い白色	プリセット1
	○ 白色で点灯	プリセット2
	● オフ	オフ
⑤	● 赤色で素早く点滅	バッテリー残量少
	⦿ 白色でゆっくり点滅	充電中
	○ 白色で点灯	スピーカーがフル充電されると、ストライプのライト全体が白色で点灯します。

3.2 背面パネル



1) AUX IN

- 3.5mmオーディオケーブル(別売)を使用し、外部オーディオデバイスに接続します

2) USB

- USBストレージデバイスに接続します。
- モバイルデバイスを充電します。

3) AC

- AC電源に接続します。

4) TWS

- ツールワイヤレスステレオ(TWS)ペアリングモードに入ります。

4. 設置

警告:

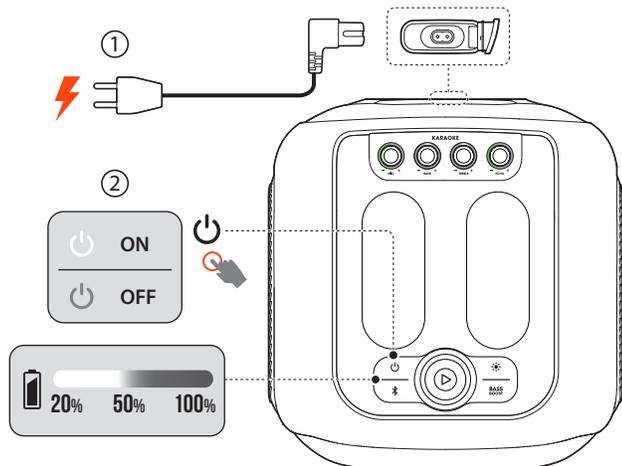
- 破損の恐れがあるため、スピーカーの上に座らないでください。

スピーカーを平らな安定した面に置き、ゴム足の付いた面が下になっていることを確認してください。

5. 電源オン

警告:

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- スピーカー電源として、AC電源か内蔵バッテリーのどちらかを使用します。



1. AC電源に接続。
 - 内蔵バッテリーを使用するには、スピーカーの充電後、AC電源コードを抜いて下さい。
2. 電源ボタンを押して電源を入れます。

ヒント:

- 初めてご使用になる前にスピーカーをフル充電すると、内蔵バッテリーの寿命が延びます。
- スピーカーがオンになっている場合、スピーカーのボタンのどれかを押し、バッテリー残量をチェックすることができます。
- 20分間操作をしないと、スピーカーは自動的にスタンバイモードに切り替わります。スピーカーの電源ボタンを押すと、通常の操作に切り替わります。

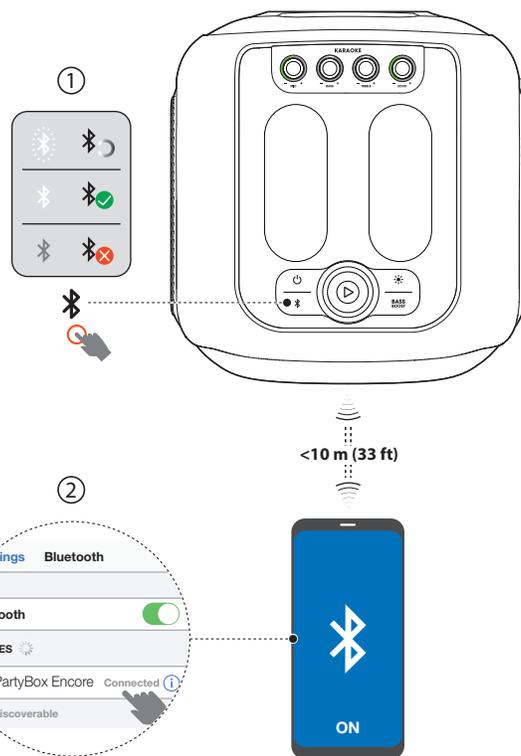
6. PARTYBOXを使う

注:

- 1度に再生できる音源は1つだけです。再生の優先順位は **USB->BLUETOOTH->AUX**の順です。
- 優先順位の高いソースで開始すると、優先順位の低いソースは常に遮断されます。
- 優先順位の低いソースで始めるには、まず優先順位の高いソースを停止させてください。

6.1 Bluetooth接続

Bluetooth対応のスマートフォンまたはタブレットと使用することができます。



1. Bluetoothペアリングモードに入るには、スピーカーのBluetoothボタンを押します。
2. Bluetooth対応デバイスの**JBL PartyBox Encore**を選択して接続します。
3. 接続に成功すると、Bluetooth対応デバイスから本製品にオーディオがストリーミングされます。

注:

- 本製品には、最大で8台のデバイスを記憶させることができます。9台目のデバイスをペアリングすると、最初のデバイスが消去されます。
- Bluetooth対応デバイスに接続する際にPINコードを要求された場合は、「0000」と入力してください。
- Bluetoothのパフォーマンスは、この製品とBluetooth対応デバイス間の距離、および操作環境に影響される可能性があります。

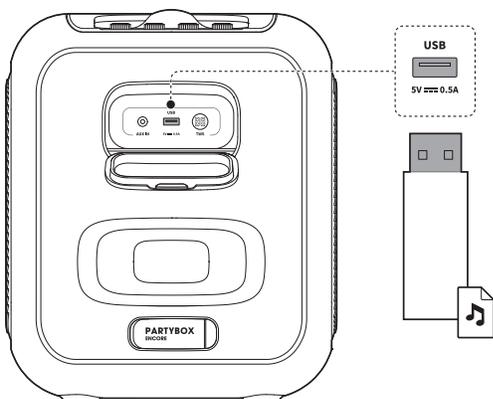
Bluetooth対応デバイスの接続を解除するには:

- スピーカーの電源をオフにするか、または
- お持ちのデバイスのBluetooth機能を無効にします。

Bluetooth対応デバイスを再接続するには:

- 次回電源を入れる時は、自動的に、最後に接続したデバイスへ再接続を試みます。
- そうならない場合は、Bluetooth対応デバイスで**JBL PartyBox Encore**を手動で選択し、接続します。

6.2 USB接続



USBポートに、再生可能なオーディオコンテンツが入っているUSBストレージデバイスを差し込んでください。

→ スピーカーは自動で**USB**ソースに切り替わります。

→ 自動的にオーディオ再生が開始されます。

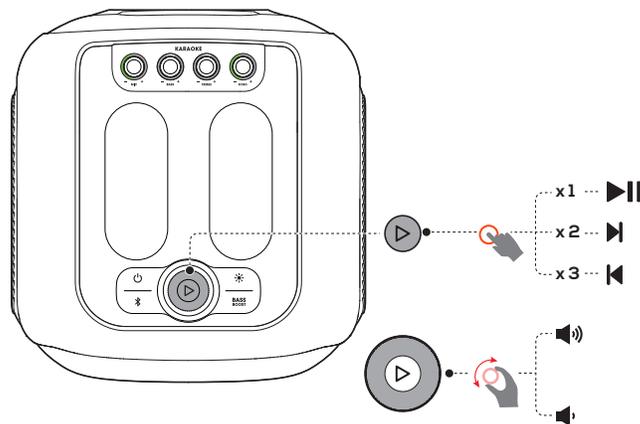
ヒント:

- アルファベット順にルートフォルダーから最終レベルのサブフォルダーまで、USBストレージデバイスのオーディオファイルを再生します。最大で8階層のサブフォルダーに対応しています。

対応するオーディオフォーマット

拡張子	コーデック	サンプリング・レート	ビットレート
WAVE	PCM	8 / 11.025 / 12 / 16 / 22.05 / 24 / 32 / 44.1 / 48	384 / 529.2 / 576 / 768 / 1058.4 / 1152 / 1536 / 2116.8 / 2304
MP3	MPEG1 レイヤー2/3	32 / 44.1 / 48	32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 160 / 192 / 224 / 256 / 320
	MPEG2 レイヤー2/3	16 / 22.05 / 24	8 / 16 / 24 / 32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 144 / 160
	MPEG2.5 レイヤー3	8 / 11.025 / 12	8 / 16 / 24 / 32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 144 / 160
WMA		8 / 11.025 / 16 / 22.05 / 32 / 44.1 / 48	5 / 6 / 8 / 10 / 12 / 16 / 20 / 22 / 32 / 36 / 40 / 44 / 48 / 64 / 80 / 96 / 128 / 160 / 192 / 256 / 320

6.3 曲の操作

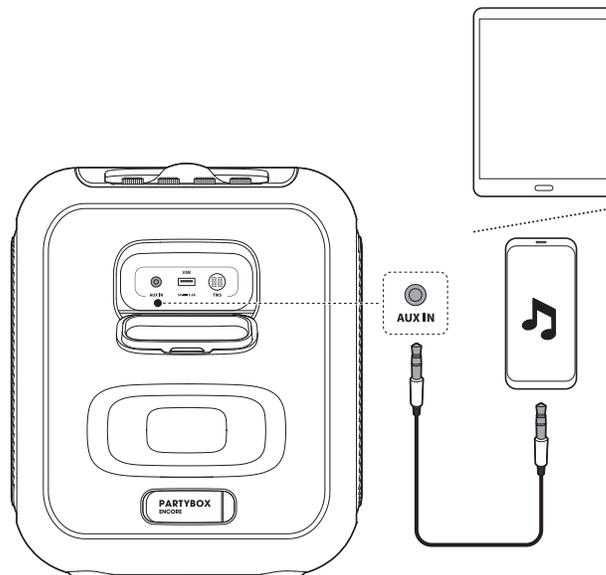


- 再生を一時停止、または再開するには1回 **▶** ボタンを押してください。
- **▶** ボタンを2回押すと、次のトラックへスキップします。
- **▶** ボタンを3回押すと、前のトラックへ戻ります。
- **▶** つまみを時計回り/反時計回りに回して/メインボリュームの音量を増減します。
- **BASS BOOST**を押して低音レベルを上げます:レベル1、レベル2、またはオフ。

注:

- スキップ操作は**AUX**モードでは使用できません。

6.4 AUX接続



1. 3.5mmオーディオケーブル(別売)を使ってスピーカーに外部オーディオデバイスを接続します。
2. その他のソースからの再生を停止した後、外部デバイスからのオーディオ再生を開始します。

6.5 マイクで音声を重ねる

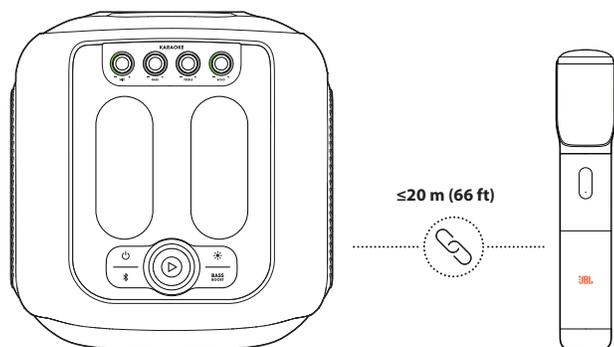
マイクを使用すれば、オーディオソースにサウンドを重ねることができます。

注:

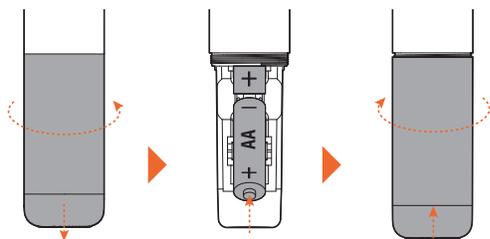
- マイクの接続/接続解除を行う前は、必ずマイク音量を最低レベルに設定してください。
- マイクを使用していない場合は、必ずマイクの接続を切ってください。

6.5.1 マイクを接続する

初期設定で、ワイヤレスマイクはスピーカーにあらかじめペアリングされています。



1. 単三アルカリ乾電池2本を正しい極性で入れてください。



2. 次に、スピーカーと付属のワイヤレスマイクの電源を入れてください。

→ 正しくワイヤレス接続をすると、短い確認音が聞こえます。

注:

- 操作をせずに10分経つと、自動的にマイクの電源が切れます。

新しいワイヤレスマイクを接続するには

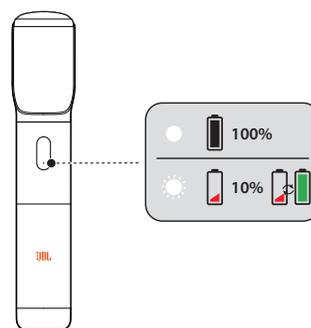
1. スピーカーの電源を切ります。
 2. 新しいワイヤレスマイクとスピーカー間の距離が1m以内であることをご確認ください。マイクの電源を入れてください。
 3. スピーカーの電源を入れます。
- マイクがペアリングされ、3分以内に自動でスピーカーに接続されます。

ワイヤレスマイクの電池を交換するには

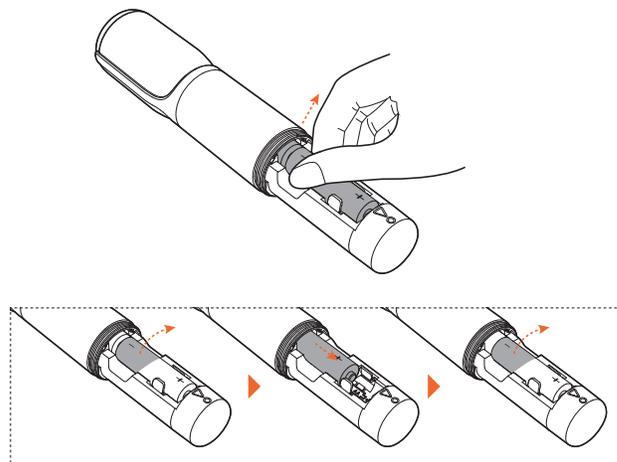
警告:

- 電池を混ぜて（新旧、または炭素とアルカリなど）使用しないでください。
- 電池を使い切った場合、またはマイクを長時間使用しない場合は電池を取り外してください。
- 電池には化学物質が含まれているので、正しく廃棄する必要があります。

1. 電池残量をチェックしてください。



2. 残量が少ない場合は、新しい電池に交換してください。

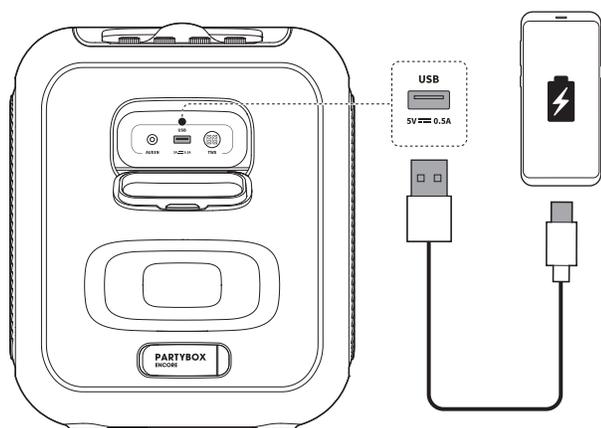


6.5.2 音声をミックスする

マイクを使って歌います。

- 音源の音量を調節するには、▶つまみを時計回り/反時計回りに回してください。
- 前面パネルのトップにあるカラオケの操作を使用して音量、低音、高音またはマイクのエコーを調節します。

6.6 モバイルデバイスを充電する



7. PARTYBOXを持ち運ぶ

警告:

- スピーカーを持ち運ぶ前に、全てのコードが外されていることをご確認ください。
- 怪我をしたり製品が破損しないように、持ち運ぶ際はしっかりと持ってください。

しっかりと上部の取っ手を持ち、スピーカーを運びます。

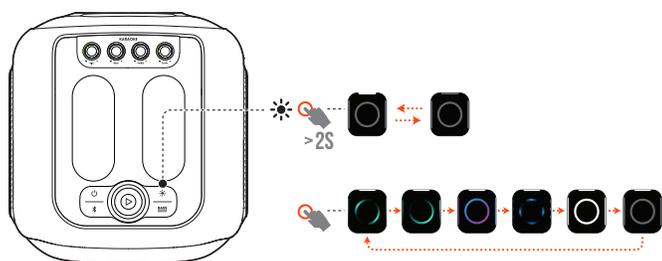
8. その他の使用方法

8.1 JBL PARTYBOXアプリ



製品をもっと使いこなすために、JBL PARTYBOXアプリをダウンロードしてインストールしてください。

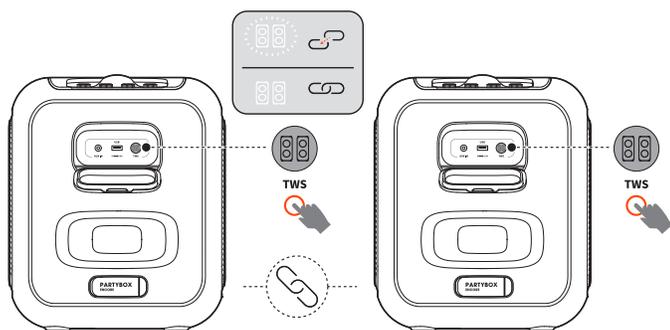
8.2 ライトエフェクト



- ※ ボタンを押してお好みのライトエフェクトを選択してください：ロック、フロー、クロス、リップル、フラッシュ、またはオフ。
- ※を2秒以上長押しすると、ストロボライトがオンまたはオフになります。

8.3 TWSモード

TWSモードによって、2台のPARTYBOXスピーカーをワイヤレス接続することができます。



両方のスピーカーのTWSボタンを押します。

TWSモードを終了するには：

電源をオフにするか、どちらかのスピーカーのTWSボタンを押します。

ヒント：

- 初期設定では、Bluetooth対応デバイスに接続されたスピーカーがプライマリースピーカー（左チャンネル）として動作し、もう1台がセカンダリースピーカー（右チャンネル）として動作します。

8.4 工場出荷状態へのリセット

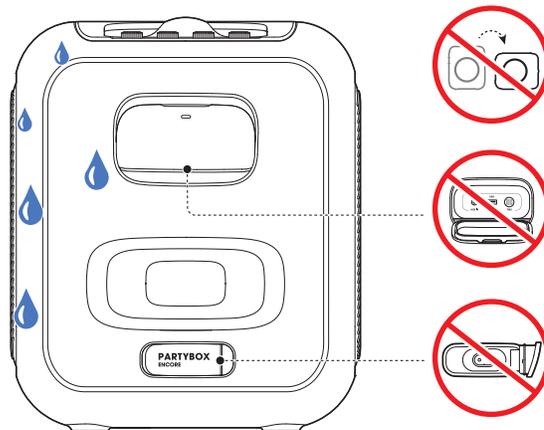
製品の工場出荷状態へのリセットを行うには、※と▶ボタンを10秒以上長押ししてください。

8.5 IPX4

警告：

- AC電源に接続する前に、必ず充電ポートを乾いた状態にしておいてください。
- 防沫のため、常に保護カバーをしっかりと閉めておいてください。

スピーカーはIPX4防沫仕様です。



9. 仕様

スピーカー構成:	133.4mmウーファー x 1、 44.5mmツイーター x 2
出力:	100W RMS
電源入力:	100-240V~/50-60Hz
周波数特性:	50Hz-20kHz@-6dB
S/N比:	80dB以上
バッテリーの種類:	リチウムイオンポリマー電池 27.0Wh (3.6V/7500mAhに相当)
バッテリー充電時間:	約3.5時間
再生時間:	最大約10時間 (音量等使用状況 により異なります)
USBフォーマット:	FAT16、FAT32
USBファイルフォーマット:	.mp3、.wma、.wav
USB充電出力:	5V/0.5A (最大)
ケーブルタイプ:	AC電源ケーブル
ケーブル長さ:	2.0m
Bluetooth®バージョン:	5.1
Bluetooth®プロファイル:	A2DP 1.3、AVRCP 1.6
Bluetooth®トランスミッター 一周波数帯域:	2.4GHz-2.4835GHz
Bluetooth®トランスミッター 一出力:	9dBm未満 (EIRP)
Bluetooth®トランスミッター 一変調:	GFSK、π/4 DQPSK、8DPSK
製品寸法 (幅x高さx奥行):	276mm x 327mm x 293 mm
製品重量:	約6.3kg
外装寸法 (幅x高さx奥行):	472mm x 354mm x 326mm
総重量:	約8.34kg

ワイヤレスマイクのスペック

周波数特性:	60Hz-15.8kHz
S/N比:	65dB超
トランスミッター送信電力:	10mW未満
トランスミッターとレシーバー 一間の距離:	20m以内

*10時間のバッテリー再生時間は目安で、再生する音楽の種類や充放電を繰り返した後のバッテリーの劣化具合により異なります。既定の音楽ソースを使用し、ライト ショーとバスブーストがOffの状態、音量レベル14、Bluetooth接続での音楽再生の条件で計測されています。

10. トラブルシューティング

警告:

- 絶対に、ご自身でこの製品を修理しようとししないでください。この製品の使用中に問題がある場合は、サービスを依頼する前に以下の点をチェックしてください。

システム

スピーカーの電源が入らない。

- スピーカーのバッテリーが切れていないかご確認ください。切れていない場合は、代わりにAC電源を使用してください。

一部のボタンが反応しない

- 製品がデモモードになっている可能性があります。デモモードでは、**⏪**と**⏩**ボタンが無効です。デモモードを終了するには、**▶**と**BASS BOOST**ボタンを同時に5秒以上長押ししてください。

サウンド

スピーカーから音が聞こえない。

- スピーカーの電源が入っていることをご確認ください。
- 音量を調節してください。
- 音源が再生されていてミュート状態でないことをご確認ください。

Bluetooth

デバイスをスピーカーに接続できない。

- デバイスのBluetooth機能がオンになっていることをご確認ください。
- すでにスピーカーが別のBluetooth対応デバイスに接続されている場合、スピーカーの**✖**ボタンを10秒以上長押しして接続を解除し、新しいデバイスとペアリングしてください。

接続したBluetooth対応デバイスからのオーディオ品質が良くない。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。デバイスをスピーカーにもっと近づけるか、デバイスとスピーカーの間に何も置かないようにしてください。

ワイヤレスマイク

マイクから反応がありません。

- マイクの電源を入れてください。
- 電池残量が少ない場合は、電池を交換してください。
- マイクとスピーカーを手動でペアリングしてください ([6.5.1 マイクを接続する](#)をお読みください)。

11. 法令順守

この製品は欧州連合エネルギー基準を順守しています。

Bluetooth接続モード

この製品はBluetooth接続経由で音楽をストリーミングして使用することを想定しています。お客様はBluetooth機能を使用して本製品で音楽をワイヤレス再生することが出来ます。本製品がBluetooth接続されている場合、確実に適切な動作をするためには、Bluetooth接続は常にアクティブな状態であればなりません。本製品は操作されないまま20分経つと、スリープモード(ネットワークスタンバイ状態)に入ります。スリープモードの電力消費量は2.0W未満で、その後Bluetooth接続を通して再度電源をオンにすることができます。

その他のモード

本製品は操作しないまま20分経つと、スタンバイモードに入ります。スタンバイモードの電力消費量は0.5W未満です。

12. 商標



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



HARMAN International Industries,
Incorporated 8500 Balboa Boulevard,
Northridge, CA 91329 USA
www.jbl.com

© 2023 HARMAN International Industries, Incorporated.
無断複写・転載を禁じます。

JBLは、HARMAN International Industries, Incorporatedの登録商標で、米国やその他の国々で登録されています。特徴、仕様、外観は予告なしに変更されることがあります。